



通算才133号

1966~1967-9-28

函館北ロータリークラブ

第117回例会

例会場 明治生命館

例会日 毎週水曜日

1230~1330

り、大衆歓呼のお見送りの中を御退場になります。次いで数万の参加者は一斉に各々苗木2、3本宛を植付けます。この作業は10分位で終わりますが、そのあとには10ha余の美事な人工造林が忽然として現出します。参加者は記念品を頂戴し、バスに乗って嬉々として退去するのです。

天皇がこの行事をお楽しみにされる御有様は、竜門社雑誌「青淵」9月号に入江侍従長が「宮廷よもやま話」と題してお述べになつております。竜門社とは渋沢栄一翁の功績、徳行を追慕する人々の結社であります。

「戦前は陛下は万々でお手植えをなさいましたが、その木が枯れると管理人が処罰されたりして、私が木を植えると人々を苦しめるからとのことでやめられました。23年から植樹行軍が始まつて大変お喜びになり、毎年お出かけになつて、苗木を植えたり、種子をまいたりしていらつしやいます。」

「昨年は鳥取県で植樹祭があり、皆生温泉にお泊りになりました。陛下は6階なので見晴らしのよい8階に御案内しようと思ひ、エレベーターに陛下をお乗せし8を押しました。ところがエレベーターが下つて1階までお降りになりました。ドアがあくと土地の若者達が待つてゐる。思ひに、私が8を押す直前に下から呼んだわけで、エレベーターは正直だから先に登録したほうの言うことをきくのです。それで陛下は大変お喜びになりました。」

「そういうような、結局あんまりお喜びになるのは、あんまりふだん順調にうまくゆきすぎるから面白くないのです。我々みたいに、タクシーがないから歩いたらやつたというようなことがないわけです。」 —以上朗読の一部—

ここで私は支笏湖畔モーラップの植樹祭の一コマを思い出します。式辞が済んで表彰者の名が読み上げられる直前、一陣の風が吹いて陛下の卓上の御帽子を飛ばしてしまいました。お付きが追いかける帽子が逃げる。敵愾な雰囲気の中で何とも言えぬお愛嬌でした。会場に笑声がおこり、御前をも憚らず爆笑となつてしまい、会場に和やかな空気が充ち溢れたのでした。

更に私はモーラップの帰りに札幌からの車中で、隣席の総理府技官で宮内庁の御料車を宰配している方に、自動車を通じての宮廷よもやま話を拝聴することができました。この技官は非常に話し好きで、別れ際に、上京したら是非宮内庁に寄つてみなさいとのことで名刺をいただきました。これで私も、昔風に申せば御城内の仲間部屋までは這入る資格がついたと思つております。

出席報告

先週の確定出席率 89.66% (会員数29名 当日出席21名)
マークアップ 5名 青柳君(札幌) 山形君(札幌)
今宮君、飯田貢一君、水上君(以上函館東)
出席者 3名 深瀬君 塚田君 石橋君

本日のプログラム

卓話 ◦ 欧米旅行の感想 ◦ ゲスト 橋本清次郎氏

司会 遠藤理事 斉唱 我等の生業
ビジター 本間祐介君(酒田 美術館) 米村喜男衛君(網走 博物館)
森本正義君(留萌 食料品販売)
棟万忠君他7名(函館) 西村敏雄君他11名(函館東)

遠藤理事挨拶

会長、副会長さん共御欠席なので代理をつとめさせていただきます。騎風の襲来で各地に被害があり、御同情にたえません。亡くなつた方もあり、哀悼の意を表したいと思ひます。

幹事報告

1. 釧路の地区大会に出席し、昨日帰函しました。非常に綿密に準備された大会で感心しました。参加者は福岡、岡山をはじめ全国各地から1300余名が集まり盛況でした。函館クラブは17名、東クラブ7名、江差5名、当クラブは私1人だけでした。私は部門別協議会にはクラブ奉仕のA(出席、親睦及びプログラム)に出席しましたが、詳細はアツセンブリーで報告したいと思ひます。なお懇親会の挨拶は出席不良の罰として江差クラブに命ぜられました。私が辞退し、私に御躰がまわつて来て困りましたが、東クラブ森岡さんをお願いしてピンチを逃れた一幕もありました。

2. 塩釜東R.C: 8月17日R.I.に正式加盟

映画 ◦ 自由とモラル(世界の青年才5集) ◦ NHK提供

才2次世界大戦後、日本にも「自由」が与えられたが、逆に「モラル」が低下して青少年の非行が増加した。学生の犯罪もふえ、犯罪の集団化も目立つて来ている。欧米も然りで、全世界の大きな社会問題になつてゐる。これは戦後良き人間関係が失われたこと、青少年の成育の早さ(肉体と精神のアンバランス)、マスコミの影響等によるものであろう。

諸外国では如何なる対策をたてているか。NHKでは取材のため各地を回つてみた。先ずアメリカでは市警察の中に青少年部が設けられ、パトロール、補



通算才134号

1966~1967-10-5

函館北ロータリークラブ

第118回例会

例会場 明治生命館

例会日 毎週水曜日

12.30~13.30

導を行なっていた。記者達は彼等に同行する。黒人スラム街も回る。少年院、PAL活動(体育を通じて非行防止をする)、ユースカウト(青少年問題懇談会)等も取材する。フランスでは女子教護院があり、宗教団体の協力が大きい。結論として、社会的に多くの対策も必要だが、根本的に家庭のしつけ、親の生活態度が大切であることを感じた。

出席報告

- 1. 本日 会員数29名 出席18名
- 2. 前回の確定出席率 89.65%(会員数29名 当日出席23名)
- マークアップ 3名 飯田貢一君(函館) 青柳君(函館東) 今宮君(函館東)
- 欠席者 3名 戸栗君 塚田君 藤野君

宮廷よもやま話 —— 青淵9月号 入江侍従長談より ——

なるべく早く日本全国を回つて、長い間日本国民が苦勞したのをねぎらい、これからの日本再建を国民に頼んでこなければならぬということ、ずいぶん長い間かけてお回りになりました。あのころは陛下もお若かつたし、スケジュールもむちゃくちゃで、朝8時ごろにお宿をお出になつて、夜10時近くお帰りになることもありました。このごろはたいへんきれいなことになりまして、楽になつてけつこうですけれども、昔のあの死にも狂いのあれを、いまもつて非常になつかしく思います。フーツと群衆が押し寄せてくると、陛下がどこへいらつしやつたかわからなくなつちやつて。侍従とは侍り従うと書いてあつて、陛下のおそばにいらはすなだけけれども、あんまりおそばにはおりませんでしてね。大阪府庁の前でしたが、押されて、給仕さんがお辞儀していたら、陛下がその頭をおなでになつた。給仕さんは喜んで、これは陛下がお触わりになつたから、しばらく刈らないんだと言つたとかいふことが新聞に書いてありました。陛下に「そんな給仕の頭をおなでになりましたか」と伺つたら、「どうも覚えぬ」とおつしやつて、だれかほかの人がなでたのかもしれない。しかし、あの騒ぎの中で、陛下と国民とが結びついたと思います。

俳句 俣野孤石君

刈り急ぐ入相の鐘やみのる秋
 四方山の話もつきず秋の宿
 雲の影うつして澄めり秋の水
 かもめ飛ぶ島の彼方や鷗雲

屋根人は石竝べをり沼の秋
 短日や顔も現わの藪地蔵
 山裾は煙流れて雉子鳴けり
 更くるほど輪はひろがりて盆踊り

本日のプログラム 卓話 北大水産学部教授 元田茂氏

- 司会 飯田会長
- 斉唱 君が代、手に手つないで
- ゲスト 橋本清次郎氏(道議会議員)
- ビジター 佐藤勇吉君他3名(函館) 中島宗吉君他8名(函館東)

会長挨拶

R.I.の入江氏(東半球のサービス担当)からお手紙と文献が送られて参りました。岡田ガバナーが北クラブを公式訪問した報告について述べてあります。和英両文で書いてあるので我々の通信も日本語で良いと思います。又文献は関係の各委員長さんにお渡しします。

幹事報告

例会終了後理事会を行ないます。出席委員長さんもお残り下さい。

ニコニコボツクス

- 1. お誕生祝 石橋君(1日) 水上君(14日) 成田君(20日)
- 2. 御結婚記念日のお祝 山形君(15日)

卓話 欧米旅行の感想 橋本清次郎氏

4月20日羽田を出発、ハワイからアメリカに渡つて約20日間滞在し、ロンドン、欧州、北欧、ローマと廻り、香港を経て6月3日に帰国しました。一行は各県の県議会議員代表20名で、地方自治視察が目的でした。

アメリカでは黒人対策が内政問題として極めて深刻であると感じました。歴代大統領のうちリンカーンとケネディが黒人問題で暗殺されています。二人共崇拜された著名な大統領であつたのは皮肉です。アメリカ独立は約200年前、奴隷開放の南北戦争は約100年前で、当時のアメリカ人は3000万人、ネグロが400万人おりました。元来ネグロは煙草や綿花をつくるための労働力として連れて来たもので奴隷としての彼等は1800ドルで売買されてきました。そして南部ではネグロがいなければ成り立たなかつたのです。又南部はアングロサクソン系、北部はラテン系(ヤンキー)で対立があり、歴代の大統領